

井上恒男教授 略歴・業績目録

1949年5月生

学歴

1970年4月 東京大学法学部入学
1974年3月 東京大学法学部卒業、法学士

職歴

1974年4月 厚生省（現厚生労働省）入省
児童家庭局企画課・同母子福祉課・大臣官房企画室勤務（1978年4月まで）
1978年5月 大臣官房国際課勤務（人事院長期派遣留学生として英国留学、1980年7月まで）
1980年7月 水道環境部環境整備課・大臣官房国際課勤務（1984年6月まで）
1984年7月 外務省在連合王国日本大使館一等書記官（1987年8月まで）
1987年8月 大臣官房人事課・国際課勤務（1988年8月まで）
1988年7月 大臣官房政策課企画官（保健医療局併任）・保健医療局健康増進企画官（1991年7月まで）
1991年7月 大臣官房統計情報部管理企画課情報企画室長（1992年6月まで）
1992年7月 厚生年金基金連合会運用調査部長（1994年9月まで）
1994年9月 厚生省年金局資金管理課長（1996年7月まで）
1996年7月 厚生省社会・援護局施設人材課長（1997年6月まで）
1997年7月 農業者年金基金業務第一部長（1999年8月まで）
1999年8月 四国地方医務支局長（2001年1月まで）
2001年1月 厚生労働省東海北陸厚生局長（2002年8月まで、厚生労働省退職）
2002年9月 年金住宅ローン協会顧問（2003年3月まで）
2003年4月 同志社大学大学院総合政策科学研究科教授（2020年3月まで）
2010年4月 同志社大学政策学部教授（2020年3月まで）

社会における活動歴

農業者年金基金審査会委員
全国健康保険協会京都支部運営委員会委員
京都府参与（高齢者ケア体制整備推進プラン策定担当）
京都府国民健康保険事業運営協議会委員
京都市国民健康保険事業運営協議会委員
長岡京市地域包括支援センター運営協議会委員
長岡京市地域密着型サービス運営委員会委員
京田辺市国民健康保険事業運営協議会委員
京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構理事

研究業績

著書

- 井上恒男「第I編第2章 イギリスにおける公的年金制度の実態」財形福祉協会年金制度研究会編 著『高齢化社会と年金改革』財形福祉協会、1984年4月、82-97頁。
- 井上恒男「第9章 対人社会サービス」社会保障研究所編『イギリスの社会保障』東京大学出版会、1987年9月、249-258頁。
- 井上恒男「第7章 総合政策科学と福祉政策論」同志社大学大学院総合政策科学研究科編『総合政策科学入門（第2版）』成文堂、2005年4月、145-161頁。
- 井上恒男『英国所得保障政策の潮流－就労を軸とした改革の動向－』ミネルヴァ書房、2014年3月。
- 井上恒男「第6章 年金制度への不安・不満をどう考えるか」中川清編著『ライフコースの変化に政策はどのように向きあうか』学芸出版社、2014年3月、65-75頁。
- 井上恒男『英国における高齢者ケア政策－質の高いケア・サービス確保と費用負担の課題』明石書店、2016年9月。

学術論文

- 井上恒男「イギリスの社会福祉行財政について」『海外社会保障情報』51号、1980年9月、35-38頁。
- 井上恒男「英国の社会福祉の現状(1) - (8・最終回)」『月刊福祉』65巻3号(1982年3月)、41-46頁、65巻4号(1982年4月)、50-55頁、65巻5号(1982年5月)、39-44頁、65巻6号(1982年6月)、54-59頁、65巻7号(1982年7月)、54-59頁、65巻8号(1982年8月)、40-45頁、65巻9号(1982年9月)、44-49頁、65巻10号(1982年10月)、44-48頁。
- 井上恒男「英国における社会保障改革の動向－白書を中心に」『週刊社会保障』1364号、1986年1月、20-23頁。
- 井上恒男「英国における社会保障改革の動向－ホワイト・ペーパーの発表」『海外社会保障情報』74号、1986年4月、67-74頁。
- 井上恒男「英国のナーシングホーム」『海外社会保障情報』75号、1986年6月、3-11頁。
- 井上恒男「サッチャー政権下の社会保障①－⑨(終)」『週刊社会保障』1457号(1987年11月)、24-25頁、1458号(1987年11月)、24-25頁、1459号(1987年11月)、44-45頁、1460号(1987年11月)、44-45頁、1461号(1987年11月)、24-25頁、1462号(1987年12月)、24-25頁、1463号(1987年12月)、22-23頁、1464号(1987年12月)、24-25頁、1467号(1988年1月)、48-49頁。
- 井上恒男「英国年金改革の動向」『生命保険文化研究所文献論集』82号、1988年3月、81-97頁。
- 井上恒男「イギリスの家族政策の動向」『海外社会保障情報』86号、1989年3月、25-34頁。
- 井上恒男「介護保険導入後の福祉現場と介護福祉士」『介護福祉教育』3巻1号、1997年10月、6-9頁。
- 井上恒男「ブレア労働党政権下の英国年金改革の動向」『同志社政策科学研究』5巻1号、2004年2月、1-17頁。
- 井上恒男「英国年金改革から見た年金一元化論－保険料免除制度からの接近」『週刊社会保障』2301号、2004年9月、46-51頁。
- 井上恒男「良質で負担可能な保育サービスを全国どこでも－英国ブレア政権下における幼保一元化の動向①～④(終)」『週刊社会保障』2311号(2004年12月)、60-61頁、2312号(2004年12月)、60-61頁、2313号(2004年12月)、68-69頁、2315号(2005年1月)、60-61頁。
- 井上恒男「介護者支援政策」再考－日英政策展開の比較－」『同志社政策科学研究』7巻1号、2005年12月13-26頁。
- 井上恒男「アルコール政策の現状と課題」『月刊基金』2006年4月、3-5頁。
- 井上恒男「医療依存度の高い要介護高齢者の地域ケアネットワークづくり、京都府乙訓地域における取り組み(上)－(下)」『介護保険情報』8巻5号(2007年8月)、22-27頁、8巻6号(2007年9月)、40-45頁。

- 井上恒男「病院ケアから地域ケアへー英国の高齢者退院促進政策に学ぶー」『同志社政策科学研究』10巻2号、2008年12月、113-125頁.
- 井上恒男・高崎亨「英国における企業年金ガバナンス強化と指導監督機関」『同志社政策科学研究』11巻1号、2009年7月、139-151頁.
- 井上恒男「英国における介護費用負担方式をめぐる議論」『週刊社会保障』2558号、2009年12月、44-49頁.
- Tsuneo Inoue “Developing the clinical abilities of care workers in Japan”, *Nursing Older People*, 24 (5), pp.32-35.
- 井上恒男「英国における介護費用負担議論と資産保有高齢者」『週刊社会保障』2761号、2014年1月、50-55頁.
- 井上恒男「長期失業者への対策から失業者への早期就労支援対策へー日英の「第二のセーフティネット」比較からー」『週刊社会保障』2783号、2014年7月、50-55頁.
- 山縣恵美・井上恒男他「地域に在住する自立高齢者における閉じこもりリスクの実態と体力との関連」『日本公衛誌』61巻11号、2014年11月、671-678頁.
- 井上恒男「英国における2014年ケア法の施行とキャップ方式の延期」『週刊社会保障』2848号、2015年11月48-53頁.
- 井上恒男「イギリスの社会保障と税制、財政対策議論」『健保連海外医療保障』110号、2016年6月、17-23頁.
- 山縣恵美・井上恒男他「地域在住自立高齢者を対象とした体力測定会への参加希望者における閉じこもりリスクと孤独感との関連」『同志社看護』2巻、2017年3月、7-18頁.
- 井上恒男「英国自治体での初期認知症高齢者等への集中訪問支援事業」『月刊介護保険』262号、2017年12月、12頁.
- 山縣恵美・井上恒男他「閉じこもり傾向にある高齢者の教室型プログラム参加につながる要因と継続要因」『老年社会科学』40巻1号、2018年4月、42-53頁.

学会発表等

- 講演「[先進国における社会保障の将来] 会議の概要」、[国際労働シンポジウムー先進国における社会保障の将来] 大原社会問題研究所、1992/10/1、大原社会問題研究所.
- 学会発表「英国年金改革からの示唆ー対立軸に着目して」2004年日本公共政策学会総会・研究大会、2004/6/12、同志社大学.
- 講演「年金改革の動向と課題」全国日本学士会、2004/6/17、京都市.
- 国際会議発表 “Divide or Unite, Long Term Care for the Elderly and People with Disabilities”, *International Conference on Evidence-based Policy in Long Term Care, Personal Social Services Research Unit, LSE, 2010/9/9, London.*
- 講演「イギリスのケアラー（介護者）支援政策」日本ケアラー連盟フォーラム、2010/11/21、東京.
- 講演 “Recent Developments in the Financing of Long-Term Care in Japan-Financial Sustainability at the Cross Roads, Seminar on Recent Developments in Financing Long-Term Care in USA, UK, Japan and Israel”, *Personal Social Services Research Unit, LSE, 2011/9/14, London.*
- 国際会議発表 “Fifteen Years of Carer-blind LTCI System in Japan”, *International Conference on Evidence-based Policy in Long-Term Care, Personal Social Services Research Unit, LSE, 2014/9/1, London.*
- 国際会議発表 “Shortages of Care Workers and their Training and Retaining in Japan”, *International Conference on Evidence-based Policy in Long-Term Care, Personal Social Services Research Unit, LSE, 2016/9/5, London.*
- 国際会議発表 “Challenges for Twenty Years Old LTC System of Japan”, *International Conference on Evidence-based Policy in Long-Term Care, Personal Social Services Research Unit, LSE, 2018/9/18, London.*
- 講演「英国における高齢者ケア政策の動向」医療経済研究会（医療経済研究機構）、2017/1/30、東京.

その他

- 井上恒男「英国における児童福祉政策」柏女靈峰（主任研究者）『子ども家庭福祉サービス供給体制のあり方に関する総合的研究』（厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業平成 17 年度総括分担研究報告書）.
- 井上恒男「医療ニーズを有する要介護高齢者に対する在宅復帰支援システムの構築に関する実践的研究報告書」（主任研究者）（平成 20 年度日本生命財団研究助成事業）.
- 井上恒男「[もの忘れ外来] 専門医による地域のかかりつけ医・ケアマネジャーとの連携体制の構築に関する調査研究事業報告書」（主任研究者）（平成 21 年度厚生労働省老人保健健康増進等事業）.
- 井上恒男「イギリス医療保障制度に関する調査研究報告書」【2017 年度版】医療経済研究機構イギリス医療保障制度に関する調査研究会編）（1999 年以降編著者として社会サービス、高齢者ケア分野等を分担執筆）.